企画：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、状況のアーキテクチャー2017 プロジェクト2「Still Moving: The '80s」 主催：京都市立芸術大学、京都市立芸術大学美術学部同窓会 助成：平成29年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

@KCUA
KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY

芸資研
GEISHIKEN

文化庁

大学から
文化力
POWER OF CULTURE

京都市立芸術大学美術学部同窓会展

部屋と宇宙と眠らない夜

―1990年代前半を中心に

山下華也子
岡村寛生
福井敦子
渡部睦子
北原美保
金田勝一
舌忠之
山田道夫
竹ノ内郁
川田有宏
山元彩乃
植田隆太
藤田匠平
辻野陽子
中村奈緒美
佐藤有紀
豊永政史

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
2018 2.17 sat ― 3.4 sun
11:00-19:00
月曜休館・入場無料

2018
2.17 sat
\3.4 sun
11:00-19:00
月曜休館・入場無料

京都市立芸術大学
美術学部同窓会展

部屋と宇宙と眠らない夜

―1990年代前半を中心に―

東西ドイツの統一と冷戦終結、ソ連解体とグローバル化の加速、湾岸戦争での多国籍軍によるイラクへの攻撃など、その後の国際社会を大きく動かしていく出来事のあった１９９０年代前半。日本国内においても、バブル経済のピークからその崩壊、そして阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件と、人々に大きな衝撃を与えた現象や出来事のあった激動の時代でした。

美術界の動きとしては、このような社会の動きからか、自らの新たな立ち位置を模索するような傾向が見られるようになります。例えばニューヨークやロンドンのアート・シーンで80年代から広まり一世を風靡していた、既存のイメージをカットアップ、サンプリング、リミックスして表現に取り込んでいくシミュレーショニズムに注目した美術評論家の椹木野衣による『シミュレーショニズム―ハウス・ミュージックと盗用芸術』が１９９１年に出版されると、若い世代の作家たちに特に大きな影響を与えました。ポップ・ミュージックやポップ・カルチャーなどとアートが結びついていくポスト・ポストモダンの思想は、バンド・ブームの中で育ってきた若者たちにとって、アートの世界と自分との接点とその広がりを感じさせるもの、とてもリアルなものであったがゆえに、彼らの心を射抜いたのだと言えましょう。また、これまで若手作家は、そのキャリアを積んでいく中で貸画廊を借りて展覧会を開くというのが主流でしたが、そうではなく、オルタナティブな作品発表の場所を自分たちで開拓していくような動きも活発化していきました。こうした流れの中で、京都市立芸術大学の学生たちも、学生の下宿アパートなど様々な場所を展示の場として使用するようになります。

90年代前半は、バブル崩壊から「失われた20年」とも呼ばれる長く続いた不景気の始まりというネガティブなイメージで捉えられがちな時代でもありますが、本展にて紹介する当時の本学学生の卒業・修了作品（本学芸術資料館収蔵品）からは、この時期特有の若き表現者たちの躍動感、高揚感を見て取ることができます。

なお、前回の同窓会展に引き続き、資料研究（状況のアーキテクチャー２０１７プロジェクト２「Still Moving: The’80s」）の発表の場としての「アーカイバル・プラクティス・ラボ」の公開も合わせて実施致します。

関連イベント情報

ギャラリートーク

2月17日（土）14:00–15:30
モデレーター：原 久子（アートプロデューサー／大阪電気通信大学教授）

オープニングレセプション

2月17日（土）16:00–

アーカイバル・ワークショップ

2月18日（日）14:00–
講師：石谷治寛（京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員）

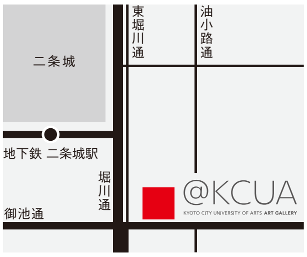
眠らない夜のアーカイブ会議

第1夜 2月23日（金）19:00–
講師：原 久子

第2夜 3月3日（土）18:00–
講師：島 敦彦（金沢21世紀美術館館長）

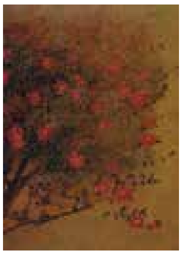
会場

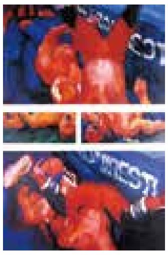
京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA
〒604-0052 京都市中京区御池押油小路町238-1

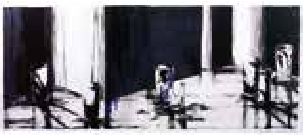


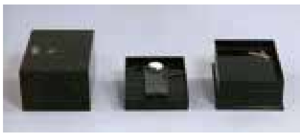
○地下鉄東西線 「二条城前駅」
2番出口より南東へ徒歩3分
○市バス・京都バス「堀川御池」
下車すぐ
Tel. 075-253-1509
E-mail. gallery@kcua.ac.jp
詳細は http://gallery.kcua.ac.jp

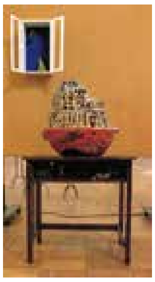
出展予定作品（本学芸術資料館収蔵品）

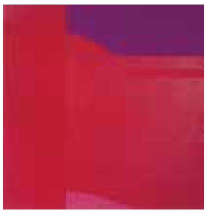

01

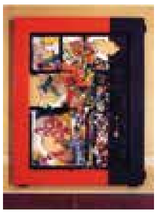

02

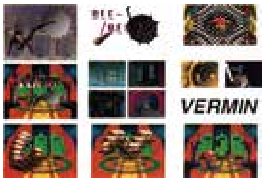

03


04


05


06

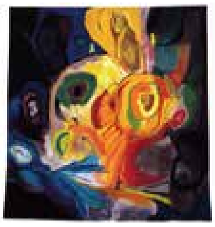

07



12

08

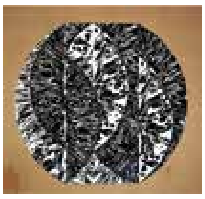
09

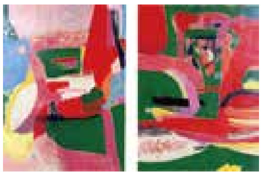

10

11

17

13


14


15

16

01	山下華世子	《冬華》（1991年度日本画専攻卒業作品）
02	岡村寛生	《ジャーマン・スープレックス・ホールド》（1991年度油画専攻卒業作品）
03	福井敦子	《in surprise》（1991年度版画専攻卒業作品）
04	北原美保	《炫燿(蒔絵螺鈿硯箱)》（1991年度漆工専攻卒業作品）
05	渡部睦子	《星へゆくための家》（1991年度陶磁器専攻卒業作品）
06	山田道夫	《Blue goes to his office everyday-3》（1992年度大学院美術研究科絵画専攻版画修了作品）
07	金田勝一	《ウルトラ チョイス》（1992年度油画専攻卒業作品）
08	舌忠之	《微刺激の空間づくり―都市の家―》（1992年度環境デザイン専攻卒業作品）
09	竹ノ内郁	《増殖の法則 1》(1992年度大学院美術研究科工芸専攻陶磁器修了作品)
10	山元彩乃	《夜宇宙》（1993年度染織専攻卒業作品）
11	川田有宏	《生活圏交通システム“MST”》（1993年度プロダクトデザイン専攻卒業作品）
12	植田隆太	《Vermin(No.00)》（1994年度構想設計専攻卒業作品）
13	藤田匠平	《ウマレタテノイシヲヒロッタ》（1994年度大学院美術研究科工芸専攻陶磁器修了作品）
14	辻野陽子	《永劫回帰》（1994年度大学院美術研究科工芸専攻染織修了作品）
15	佐藤有紀	《ノータイトル》（1995年度大学院美術研究科絵画専攻油画修了作品）
16	豊永政史	《知覚・その写真》（1995年度大学院美術研究科デザイン専攻ビジュアルデザイン修了作品）
17	中村奈緒美	《DRESSING》（1995年度漆工専攻卒業作品）

企画：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、状況のアーキテクチャー2017 プロジェクト2「Still Moving: The’80s」　主催：京都市立芸術大学、京都市立芸術大学美術学部同窓会　助成：平成29年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」
平成29年度 京都市立芸術大学 特別研究 2017-004